

第七號

七十八歲老母

一八七四年（明治八年）二月

1

つきひ　さんじゅうはちねん　いぜん　あまくだ　もと　いんねん
月日より三十八年以前にて　天降りたる元の因縁

三十八年以前，由於元始因縁的緣故，月日從
天上降臨。

2

つきひ　そのいんねん　あ　ゆえ　なに　いさい　はな
月日より其因縁が有る故に　何か委細を話したいから

因月日具有那樣的因縁，任何詳情都想跟你們
說。

3

かみ 上たるは それ し 其を知らずに なにごと 何事も せかい なみ 世界並やと おも 思っている なり 也

但上位者不知道，以爲此事與世俗之事沒什麼兩樣。

4

このところもと 此処 元 なるぢばの こと 事ならば はじ 創まり だ 出しを し 知らん こと な 事無し

這裡若是元始之原地的話，有關創人創世的事情便無所不知。

5

かみ 上たるへ このしんじつ 此眞実を はやばや 早々と し 知らしてやろと つきひ おも 月日思えど

月日一直想要把這些眞實之事，即早傳達給上位者知道，

6

かみ 上たるは それ 其を し 知らずに めえめえ 銘々の わがみ 我身 しやん 思案をばかり おも 思うて

但上位者不知道，每個人盡用自身的想法在想事情。

7

つきひ だんだん み みちすじ こわ あぶ みち あ
月日には段々見える道筋に 怖き危なき道が有るので

在前方的道路上，月日漸漸看到了些可怕、危險的事情，

8

つきひ そのみちはや し おも しんぱい
月日より其道早く知らそうと 思て心配しているところそ

爲此月日內心感到很擔心，想要早點將路上的事情讓你們知道。

9

にんげん わ こ おも おな こと こわ あぶ みち あん
 人間の我が子思うも同じ事 怖き危なき道を案じる

就像人們會爲自己的孩子做考量一樣，神也會
 爲路上可怕、危險的事情擔心。

10

それ し みな いちれつ めえめえ みな く なり
 其知らず皆一列は銘々に 皆うっかりと暮らしている也

但世人不知此事，所有人依然毫不留意地在過
 日子。

11

この せかい なに よろず いちれつ つきひ しはい おも
此世界何か万を一系列に 月日支配をすると思えよ

要知道，這世界的所有事情都是月日在主宰，

12

このはなし どう ゆ こと おも これ さき みち み
此話如何言う事に思うかな 此から先の道を見ていよ

聽到這些話，你們有什麼想法呢？去瞧瞧今後的路吧。

13

ど よう たか やま みず つ たにそこ あぶ げ な
何の様な高い山でも水が付く 谷底やとて危な気は無い

即使到再高的山上也會浸水，在谷底卻反而沒有危險。

14

なに か つきひ しはい おお ちい ゆ な や
何も彼も月日支配をするからは 大き小さい言うで無いぞ哉

既然任何事情都是由月日所主宰，就沒有所謂的大事或小事。

15

これまで なん ようぎ ほ たいてえ たず
此迄も何でも用木欲しいから 大抵尋ねいたるなれども

因爲需要用木的緣故，直到今天，已經大致尋遍了所有的地方。

16

このたび たにそこ ちよと きい み あ なり
此度は谷底にては一寸したる 木がたっぷり見えて在る也

就在這時候，月日在「谷底」的地方，找到了許多將來會成大器的木材。

17

このきい だんだん つきひ でい つく あ くに はしら や
此木も段々月日手入りして 作り上げたら国の柱哉

月日一步一步地進入這些樹裡面栽培它們，一旦完成之後將成爲國家的樑柱。

18

それ にちにち つきひ みさだ あと ようぎ もよう
其からは日日月日見定めて 後の用木の模様ばかりを

在那之後，月日每天仔細地觀察，爲成爲將來的用木作足準備。

19

それ^ひきい^{だんだん}と 手^{てい}入^ひり引^つき付^{あと}け後^{もよう}の模様を

然後從陳木之中一步一步施以神譴並召集它們，爲將來作準備。

20

にちにち^{つきひ}おもわく^{ふか}あ^{おな} 日^{ところ}々に月^{にほん}日^{さんぼん}思惑深く有る 同^{おな}じ^{ところ}処^{にほん}に二^{さんぼん}本^{さんぼん}三^{さんぼん}本

月日每天都懷著深厚的思慮，在同個地方會找兩、三株樹出來。

21

このきい めまつ おまつ ゆ いか きい つきひ おもわく
此木も雌松雄松は言わんでな 如何なる木も月日思惑

不會說樹裡面哪株是雌松或雄松，任何的樹都在月日的考量之內。

22

このあと なに はなし ようぎ もよう ゆ なり
此後い何の話をするならば 用木の模様ばかり言う也

接下來要說的所有事情，都是為用木在作準備。

23

ようぎ ちよつと こと な ぶじゅうろくじゅう にんかず ほ
用木でも一寸の事では無いからに 五十六十の人数が欲し

所需要的用木不只是一點點，需要五十～六十人左右。

24

このにん いつ いつ まで へ よう まつだいつづ き め な よう
此人も何時何時迄も減らん様 末代続き切れ目無き様

人數不管什麼時候都不要減少，世世代代都不要中斷。

25

こらほど おも つきひ しんじつ みな ころろ なに おも や
此程に思う月日の真実を 皆の心は何を思う哉

月日這樣子付出的真心，大家的心裡是怎麼想
呢？

26

ど よう くど はなし たす いちじょう
何の様な口説き話をするのもな 救けたいとの一条ばかりで

不管怎麼樣嘮叨地說，都是因為想全心去拯救
世人啊。

27

いちれつ むね うち しんじつ はや わか こと
一列の胸の内より真実に 早く分りた事であるなら

世人的内心，若是能早點真實地了解神意的話，

28

それ つきひ よろず しはい なに よろず たす や
其からは月日万の支配する 何か万の救けするぞ哉

屆時月日將會支配所有事情，任何事情都會去
拯救。

29

このたす はや りやく み つきひ ところ せ
此救け早く利益を見せたさに 月日の心急くばかりやで

想早點讓你們看見這拯救帶來的「利益」，月日的內心滿是著急。

30

なに か この せ こ あ ゆえ むね うち そうじ いそ
何も彼も此急き込みが有る故に 胸の内より掃除急ぐで

因為對任何事都非常焦急，才急著去清掃內心。

31

このはなし どこ こと おも
此 話 何処の事やと思うなよ みな めえめえ うち はなし や
皆銘々の内の話哉

不要以爲這些話是針對其他地方說的哦，這些話是對每個人的內心說的呀。

32

めえめえ むね うち しっか しんじつ で すぐ み
銘々に胸の内より確りと 真実を出せ直に見えるで

每個人真能掏出真心，祐護便能馬上顯現出來。

33

つきひ このせ こ あ ゆえ なに こころ いそが こと
月日より此急き込みが有る故に 何か心は忙しい事

月日爲此感到著急，因此心裡很忙碌。

34

これ はや じゅうよう み つきひ こころ いさ
此さいか早く自由見せたなら 月日の心ひとり勇むに

如果能夠早點讓你們看見自由神祐的話，月日的心自然會踴躍起來。

35

いままで いま この よ はじ ゆ 言うてあれども なん こと の事やら
今迄も今が此世の創まりと

至今已經都說過了，這個世界現在才要開始，
但你們明白嗎？

36

このたび じゅうよじざい とくしん いままで こと し
此度の自由自在で得心せ 今迄こんな事は知ろまい

這次，好好去領會自由自在的神祐吧！這事情
到現在還沒有人知道。

37

つきひ　たいない　い　こ　じゅうよじざい　みな　み
月日より胎内よりも入り込んで　自由自在を皆して見せる

月日會進入每個人的身體裡，自由自在的神能
全會顯現出來給你們看。

38

こらほど　じゅうよじざい　しんじつ　はなし　いまはじ
此程の自由自在の眞実を　話するのは今初めやで

將自由自在的眞實神祐這樣說出來，這可是第
一次呀。

39

此^{この}先^{さき}は何時^{いつ}になりても此^{この}道理^{どうり} 自由^{じゅうよ}自在^{じざい}を早^{はや}く知^しらする

今後不管到什麼時候都是這個道理，自由自在的神祐想早點讓你們知道。

40

今^{いま}迄^{まで}も如何^{いか}なる道^{みち}も通^{とお}りたが おびや救^{たす}けの試^{ため}し始^{はじ}め哉^や

直到今天已經走過了各種不同的路，這些路都是從嘗試安產拯救所開始的呀。

41

此度はおびや^{たす}救けの^{しんじつ}眞実を ^{はや}早く^{たす}救けを^{つきひ}月日^せ急けども

這一次，月日藉著安產拯救的眞實功效，急著
要拯救你們，

42

一列は^{いちれつ}今迄^{いままで}知らん^し事^{こと}やから ^{みな}皆^{なり}じつくりといずみいる也

但世人至今還不知道這事情，全都意興闌珊、
萎靡不振。

43

しんじつ　　こころさだ　　ねが　　じゅうようじざい　　いま　　まあ
眞実に心定めて願うなら　自由自在に今の間にも

眞實地下定決心來祈願的話，即刻就能得到自
由自在的神祐。

44

このこと　　たれ　　し　　こと　　むね　　わか　　つきひ　　ざんねん
此事は誰でも知らぬ事やから　胸が分らん月日残念

因爲這事情誰也不知道，沒人明白月日之心。
月日對此很遺憾。

45

いままで なによ こと み 今迄は何様の事も見えねども これ さき はや み 此から先は早く見えるで

雖然至今什麼都還沒看見，但今後就快要顯現出來了。

46

しんじつ こころ あ なになり 真実の心有るなら何也と はや ねが すぐ かな 早く願えよ直に叶うで

若懷有真實之心的話，有任何心願即早許下，馬上就能實現。

47

何^どの^{よう}様^{こと}な^ゆ事^はいか^んと言^わん^でな 救^{たす}け^{いちじょう}一^せ条^は急^はえ^てい^るから

任何祈求神都不會拒絕，因為急欲全心拯救世人。

48

此^こ程^らに^ほ月^{つき}日^ひの^こ心^{ころ}急^せき^こ込^めど 側^{そば}の^こ心^{ころ}は^{なん}何^はで^いず^むぞ

月日的心如此地焦急，但身旁的人為何躊躇不前？

49

はやばや　こころいさ　せ　こ　つきひ　ま　か　これ　し
 早々と心勇んで急き込めよ　月日待ち兼ね此を知らんか

內心快踴躍起來、著急起來吧！你們不知道，
 月日已經等得不耐煩了嗎？

50

つきひ　じゅうよじざい　しんじつ　はや　み　これ　いちじょう
 月日より自由自在を真実に　早く見せたい此が一条

月日最大的心願，就是想早點讓你們真實地看
 見自由自在的神祐。

51

こらほど おも つきひ しんじつ そば こころ ま せかい なみ
此程に思う月日の真実を 側の心は未だ世界並

月日這般真實的心意，但身邊的人心卻仍只有
世俗的見識。

52

ど よう こと ゆ にんげん こころ な つきひ こころ や
何の様な事を言うのも人間の 心では無い月日心哉

不論說什麼事情都不是出自常人之心，是出自
月日之心呀。

53

いままで なに ゆ にんげん ところ ま よう おも
今迄は何を言うても人間の 心が混じる様に思うて

至今不管說了些什麼事情，你們都以爲混著常
人之心，

54

しか き これ ところ い か にんげん どころ あ おも
確と聞け此から心入れ替えて 人間心有ると思うな

仔細聽好！現在起就把心念轉換過來，千萬別
再以爲混有常人之心了。

55

いままで おな にんげん よう おも なに わか
今迄は同じ人間なる様に 思っているから何も分らん

你們一直以爲跟一般人沒什麼兩樣，所以什麼
都沒辦法明白。

56

これ なに ゆ な こと にんげん さらに おも
此からは何を言うにも為す事も 人間なると更に思うな

今後不管是說什麼、還是做什麼，都別再以爲
只是一般人了。